

2019年度 駒場東邦中学【算数】大問2

(1)

短針と長針が下の図1のように折れ曲がった時計があります。

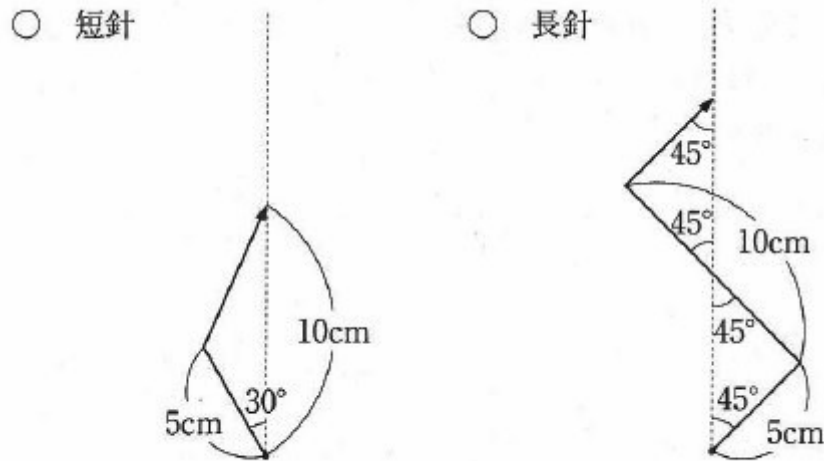


図1

例えば「6時00分」には下の図2のようになります。このとき、6時から7時の間で、短針と長針の一部が重なっている時刻は6時何分何秒から6時何分何秒までか求めなさい。ただし、秒の値は分数で答えなさい。

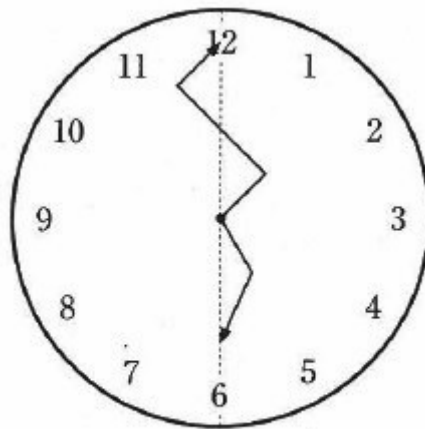


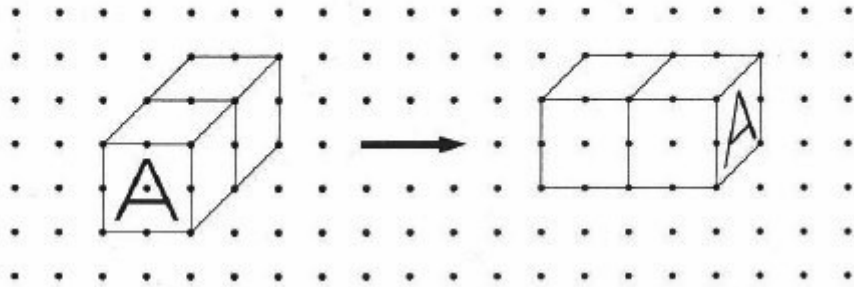
図2



(2)

例のように立体図形を上から見て反時計回りに90°回転移動させた図形を考えます。

例：2個の立方体を組み合わせた立体の場合



下の図のような5個の立方体を組み合わせた立体を上から見て反時計回りに90°回転させた図形を解答欄に図で表しなさい。ただし、「A」とかいてある面だけは示してあるので、残りの部分を表しなさい。また、見えない部分の線はかかないこととします。

